

(様式1)

## 令和2年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

- 1 施設名 (所管課)  
富山県上市カヌー競技場 スポーツ振興課
- 2 施設所在地  
中新川郡上市町千石2-2
- 3 施設設置年度  
平成11年度
- 4 設置目的  
県民の体育及びレクリエーションの振興を図る。
- 5 施設概要  
コース(500m×9レーン)・・・日本カヌー連盟公認コース  
(主な設備等)  
・艇庫  
・宿泊室(3室・30名)、湯沸洗面室、シャワー室、会議室
- 6 指定管理者  
公益財団法人富山県体育協会
- 7 指定期間  
5年  
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

### 8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H28	H29	H30	R1	R2
2,317	3,311	1,916	2,520	1,930

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H28	H29	H30	R1	R2
143	285	207	242	189

【参考】利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H28	H29	H30	R1	R2
228	228	228	230	232

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県の要請に基づく臨時休館（4/18～5/19）や大会等の中止のため、利用者数・料金収入ともに大きく減少した。

### (2) サービス向上に向けた取組み

・各種大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げに柔軟に対応した。（繰上げ開館 2件）  
・施設利用者へのアンケート調査、競技団体からの要望聞き取り等により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。  
・指導員が対応可能な時には、カヌー指導を行い、令和2年度には3回、延べ69名に指導を実施した。  
・施設利用者の便宜を図るため、引き続き飲料等の自動販売機を設置した。  
・新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった小学生カヌー全国大会の代替措置として、令和2年10月に動画配信サービス（Zoom）によるオンライン大会が実施され、会場として運営に携わるとともに、選手の参加を支援した。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・県カヌー協会と連携し、隣接する自然公園を活用した小・中学校での遠足や宿泊体験学習での利用を呼びかけている。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用無し）

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	実施期間：随時 実施方法：①事務所前にアンケート用紙を設置 ②利用団体や利用者に関き取り調査
回答者数	回答者数：アンケート回答 31人
結果	・職員対応が良い 83%、今後も（時々）利用したい 100%、 宿泊施設が良い 79%  ・意見・要望等 オーバーフローや注意報が発令されていても乗艇できるようにしてほしい、新しい規格の艇を導入してほしい、新しいエルゴマシンを導入してほしい 等
結果を踏まえた改善事項	・県や関係機関との協議の結果、十分な危険防止策・監視救助の実施等を条件として、ダム放流時や注意報発令時においても試験的に湖面を利用できることとなった。 ・整備については県と指定管理者で協議を行い、必要と判断されるものについて対応していく。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

—

#### ③ 主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報取扱留意事項を職員に周知徹底しており、適切な個人情報保護に努めている。

(6) 関係団体との連携

・県カヌー協会と連携し、小・中学校での遠足や宿泊体験学習での利用を呼びかけるなど利用の促進を図っている。

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・AED講習会（心配蘇生法）を受講した職員を配置している。  
・事故発生時の早急な対応のため緊急連絡網を作成している。  
・湖面上の流木除去や危険箇所の確認、安全管理のための巡視を行うとともに、ダム管理者である上市川ダム管理事務所と常時連携を図るなど徹底した安全管理に努めている。  
・新型コロナウイルス感染症対策として検温、換気、機器・用具の消毒等を徹底しているほか、厚生センターから講師を招き、体育施設における感染症予防についての研修会を実施し、具体的な感染予防対策についての職員の知識を深めた。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	1
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・自然条件により使用が制限される（ダム湖使用）という施設の特性があるが、そのような状況の中でも、関係団体と連携して、小・中学校や地域スポーツ団体における利用を呼びかけるなど利用者増を図り、競技普及に努めるなど、引き続き積極的に利用促進を図っていく必要がある。  
・関係団体と連携して、教室事業の充実や、強化合宿などの宿泊利用の促進など、利用促進のための取組みの継続が望まれる。  
・備品については、県と連携を図りながら適切な管理に努める必要がある。  
・競技者が自己の力量を試す場として記録会の企画・開催に努め、初心者から競技者へのステップアップを支援するよう努めてほしい。  
・令和3年度からの湖面利用条件の試験的緩和については、これまで以上に施設利用時の安全対策を徹底することとし、また、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、利用者数の増加や競技力の向上につなげるよう努めてほしい。